

人権が尊重される社会へ 働きがいと魅力ある職場を

自治労連第47回定期大会in北九州市



■…運動の4つの重点…■

1. 憲法の理念を住民と共同の力で具体化し、公共を国民・住民の手に取りもどそう
2. だれもが希望と意欲もてる賃金制度と、働きがいと魅力ある職場をつくろう
3. 戦争国家づくり・改憲を阻止し、だれもが安心してくらせる平和な社会を実現させよう
4. 「対話と学びあい」を職場からひろげ、要求闘争と一体で組織の強化・拡大をすすめよう



↑ 定期大会で発言する木下代議員(左)・
浜崎代議員(中央)・三宅代議員(右)

全国の仲間から
活発な発言が！

経過報告、議案
提案に続き2日間
の発言は、まず青
年を中心に、続け
て単組、県本部の
組織拡大、地域手
当、競合組合との
闘い、会計年度任
用職員処遇改善、
再任用職員処遇問
題、職場自治研、
後半は平和、ジェ
ンダー平等の闘い
が語られました。
どの発言も「公共
を取りもどす活
動」「対話と学び
あい」の視点こ
そ、住民と職員を
守り、幸せにつな
がることを訴える
内容でした。

8月24日(日)～25日(月)北九州市で、「憲法、人権が尊重される平和な社会を、仲間を増やし働きがいと魅力ある職場をつくり、公共を取りもどそう」のローガンのもと、自治労連第47回定期大会が開催され、全体の代議員は271人、女性比率32%(昨年25%)、66人の発言中、女性は38%、広島自治労連から8名が代議員として参加しました。

「対話と学びあい」 で運動の前進を

総括答弁で、住民との共同で民営化阻止、長時間労働や人員不足の実態調査を、地域手当は基本給に入れていく運動など、すべての課題に対話と学びあいを位置付けよう、次世代の役員づくりをめざそう、そして、住民の命とくらしを守るため職員の命とくらしも守ろう、と訴えました。

今年は役員選挙の大会でした(左枠内参照)。新中央執行委員長は京都自治労連の福島功さんが新任され、すべての議案も満場一致で採択され終了しました。

自治研のニュースタイトルと イメージキャラクターが 決まりました！

第18回地方自治研究全国集会in広島のニュースタイトルとイメージキャラクターについて、たくさんの投票ありがとうございました。それぞれ最優秀賞と特別賞が決定したのでお知らせします！

◆◆ ニュースタイトル ◆◆

☆最優秀賞

「LET'S GO ひろしま自治研」

☆特別賞

「まなびん」

◆◆ イメージキャラクター ◆◆

☆最優秀賞

もみじっちゃん

☆特別賞

もみじちけんたろう



全障研 第59回全国大会2025広島開催！



ステージでは広島の多くの仲間が願いを込めた歌を披露

ヒバクシャの問題 から平和を考え 自分のできる取り 組みを

記念講演では「平和とは何か」世界のヒバクシャの視点から」として広島市出身の高垣慶太さんが、核の被害を受け続ける人がいるのは広島や長崎だけではなく、世界のヒバクシャという視点をもつことが必要。自分の平和は何か、それが取り組めることを活かしていこうと語りま

10日は分科会、講座が行われ、他県からの参加者や職種の違う方との情報交換や療育とはまた違う視点での意見なども伺うことができ、多くのことを語り、学び合うことができた有意義な時間となりました。

8月9日～10日、全国障害者問題研究会第59回全国大会2025広島が開催され、障害児者、その家族、支援者、研究者などの仲間たち1300人以上が参加しました。一年前からの準備委員会では広島市職労児総センター支部や広島市社会福祉事業団労組が中心となり取り組みまし

広島は縦に横に願いを
込めてつながる…



自治労連第47回定期大会
補助組織・部会が定期大会(総会)を開催

自治労連運動の前進へ！

専門分野とともに、公共を取りもどす

現業評議会第38回定期大会

現業評議会第38回定期大会が開催され、23地方組織・45単組より90名が参加しました。

経験と技術継承による専門性をもち、有事の際に即座に公的責任を果たすことのできる直営での現業職員・現業職場の活動が報告され、改めて我々の必要性・重要性を共有。行政改革の名のもと削られ続けてきた公共を取り戻すため、「現業署名」「現業大事だ！キャンペーン」「10・15現業統一行動」「学習交流集会」等を活動の中心に据え、誰もが安心して暮

らせる社会を目指すことを確認しました。

全ての議案及び提案が承認・採択され、現業労働者が担う役割を発揮できる体制と人員の確保・処遇改善を勝ち取る決意を表明し、「団結がんばろう！」と声を合わせ、大会を終えました。



女性部第38回定期大会

女性部第38回定期大会が開催され、広島から2名の代議員と幹事が参加しました。

来賓のあいさつで本部の橋口書記長がご自身の職場体験から「男性の目ではわからない女性差別があったが少しずつ改善されてきた。社会で女性の果たすべき役割は大きい」と述べました。

運動方針では、労働組合内でジェンダー平等の視点を反映させること、性別や働き方の違いを乗り越えて奮闘しよう、学習活動の強化、幅広い女性との連帯で要求

を勝ち取ろうと提起されました。

討論では全国から13名が発言、広島からは小笠原女性部長が平和学習や広島市役所の女性トイレ増設の取り組み等を発言しました。次世代への役員交代問題があるなか、各地で工夫を凝らし活動していることに励まされる大会でした。

発言する小笠原部長



非正規公共評第33回定期大会

非正規雇用・公務公共関係評議会第33回定期大会では、広島に加藤加代子代議員が運営委員長として選出されました。

運動方針では、更なる賃上げと共に、会計年度任用職員の公募の撤廃、休暇制度や手当を正規と同等の待遇にすること等、公務公共関係で働く全ての非正規職員が安心して仕事ができる環境の確立を目指すことが提案されました。

その後の討論では、横田代議員が広島における指定管理者制度と公務公共職場の民間委託の問題

点について発言しました。

役員体制では、学童連絡会から選出されていた広島自治労連の大内全国幹事が今回で退任となりました。新しい役員体制の下、今までの成果を更なる運動へ繋げていけるよう、奮闘することを意思統一しました。



発言する横田代議員

保育部会定期総会

保育部会第38回定期総会が、17地方組織37単組62人の参加で開催されました。

一年間の運動を総括し、少子化が止まらない中でも全国的に解消されない保育士不足、公立保育園の廃止・民営化、ICT化に関わる課題、会計年度任用職員の問題などが語られました。

行動提起では、国や自治体に向けた署名、宣伝行動、要請行動などの諸行動で保育の市場化に反対し、公的保

育制度の拡充と保育予算の大幅な引き上げを求めること、職員の処遇改善のための取り組み、憲法を守り、平和・民主主義・くらしを守る運動への取り組みなどが示されました。公立保育所を守ることは、保育の市場化に歯止めをかけ、市場から子どもを守ることにつながると決意する総会でした。



秋の賃金確定闘争 勝利へ！

職場の仲間の要求を持ち寄り、
実態を訴えよう
現場の声が賃金引上げの原動力！

総決起集会「労働組合を知ろう」

- 9月27日(土)18時～20時
- アステールプラザ4F 大会議室A
オンライン併用で開催します
- 内容：＊4単組からの活動報告
＊特別報告「会計年度任用職員(旧嘱託職員)が勝ち取ってきた成果」
＊グループトーク
＊行動提起等

主催：広島自治労連非正規連絡会ヒロシマ
お問い合わせ等は広島自治労連へ
Tel 082-243-9240 email hjrouren@urban.ne.jp

「もっと聞きたい！仲間の仕事」

- ◆10月19日(日)10時～12時
- ◆ロードビルからオンライン併用
- ◆内容：広島市児童相談所他の仕事の話をお聞かせします
- ◆どなたでも参加できます。
右の二次元コードから入室できます。
- ◆午後からは広島自治労連第36回定期大会を行います。大会参加については各単組の役員にご確認願います。



企画総務局との交渉

広島市関連
労組連絡会

市民の笑顔のために！ 指定管理料の増額を

8月26日(火)
指定管理者制度の所管課である企画総務局との対市交渉を行いました。
今回は給与課長と出資法人経営改革推進室長は欠席となり、分権・業務改革担当課のみの出席となりました。
この交渉までに都市整備局・経済観光局・市民局・健康福祉局・こども未来局との交渉を経ており、企画総務局との交渉はその総括となります。

またが、指定管理料は近年の人材不足や物価高を背景とした運営費用の大幅な上昇に対応できていません。
広島市は公共の福祉と市民サービスの責任を果たすために外郭団体を設立したはずが、近年、外郭団体が管理する施設が、公募の末に指定管理者から外れ、民間委託となるケースが増えました。
対象となった労組からは、このことで職員は大きな不安と危機感を抱えており、公共の福祉と市民サービスの在り方を当局に問いたされました。

また経費の高騰を受け、指定管理料の増額を求め、要求実現へいきまします。
課長からの回答では、必要なことは行っている、管理料不足は市全体での優先順位があり、しぶっているわけではない、などの答弁に終始しました。
より良い市民サービスのためには職員の処遇や労働環境の改善は必須です。引き続き、労組の団結を強め、要求実現へ知恵と力を結集していきます。

労組への結集を
強め、要求実現